

第2期宗像市国民健康保険  
保健事業実施計画(データヘルス計画)

第3期特定健康診査等実施計画

中間評価(案)

令和3年1月

宗像市国民健康保険

# 目次

第1章 保健事業実施計画（データヘルス計画）の概要及び中間評価の趣旨とその結果	
1 計画の概要とその背景	1
2 中間評価の趣旨	3
3 中間評価の結果	3
(1) 中長期目標・短期目標（アウトプット・アウトカム評価）の進捗状況	3
(2) 保健事業の評価（ストラクチャー・プロセス評価）と課題	4
(3) 中間評価の分析結果に基づく課題	11
第2章 課題を踏まえた新たな目標値の設定	
1 中間評価を踏まえた新たな目標値の設定	15
(1) 中長期目標の設定	15
(2) 短期目標の設定	15
2 地域包括ケアシステムの推進・ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進	18

## 第1章 保健事業実施計画（データヘルス計画）の概要及び中間評価の趣旨とその結果

### 1 計画の概要とその背景

我が国は世界トップレベルの長寿社会であり、今後さらに高齢者の大幅な増加が見込まれる中、いかに健康を維持しながら人生を送るか、つまり、いかに健康寿命を伸ばすかが今日の課題であるといえる。

保健事業の実施計画（データヘルス計画）とは、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画であり、生活習慣病予防及び重症化予防に取り組み、国保加入者の健康保持増進を図ることで、医療費適正化と健康寿命の延伸（疾病・障害・早世の予防）を目指すものである。

その中で、人生百年時代を見据え、これまでの国保加入者のみならず、高齢者の健康増進を図ることが求められている。高齢者は、複数の疾患の罹患に加え、要介護状態に至る前段階であっても身体的だけでなく、精神的、心理的及び社会的な脆弱性といった多様な課題と不安を抱えやすい傾向にある。そこで、市民に身近な市町村が、高齢者一人ひとりにきめ細かに対応するため、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進する体制整備等を規定した「保険医療制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し、これまでの国保保健事業から後期高齢者保健事業への接続を効果的に行うことで、健康寿命の延伸を目指していくこととなった。

図表① ★データヘルス計画とその他法定計画等後の位置づけ

		※健康増進事業実施者とは 健康保険法、国民健康保険法、共済組合法、労働安全衛生法、市町村（母子保健法、介護保険法）、学校保健法				
「健康日本21」計画		特定健康診査等実施計画	データヘルス計画 (保健事業実施計画)	介護保険事業（支援）計画	医療費適正化計画	医療計画 (地域医療構想含む)
法律	健康増進法 第8条、第9条 第6条 健康増進事業実施者※	高齢者の医療の確保に関する法律 第19条	国民健康保険法 第82条 (健康保険法第150条)	介護保険法 第116条、第117条、第118条	高齢者の医療の確保に関する法律 第9条	医療法 第30条
基本的な指針	厚生労働省 健康局 平31年2月改正 国民の健康の増進の総合的な 推進を図るための基本的な方針	厚生労働省 保険局 令和2年3月改正 特定健康診査及び特定保健指導の適切 かつ有効な実施を図るための基本的な指針	厚生労働省 健康局 令和2年3月改正 「国民健康保険法に基づく保健事業の 実施等に関する指針の一部改正」	厚生労働省 健康局 令和2年改正予定 介護保険事業に係る保険給付の円滑な 実施を確保するための基本的な指針	厚生労働省 保険局 平成28年3月全部改正 医療費適正化に関する施策 について基本指針	厚生労働省 医政局 平成29年3月改正 医療提供体制の確保に関する 基本指針
根拠・期間	法定 平成25～34年（第2次）	法定 平成30～35年（第3期）	指針 平成30～35年（第2期）	法定 平成30～32年（第7期）	法定 平成30～35年（第3期）	法定 平成30～35年（第7次）
計画策定者	都道府県：義務、市町村：努力義務	医療保険者	医療保険者	市町村：義務、都道府県：義務	都道府県：義務	都道府県：義務
基本的な考え方	健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に向けて、生活習慣病の発生予防や重症化予防を図るとともに、社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上を目指し、その結果、生活習慣病が健康増進のものとみなすよう、生活習慣の改善及び社会環境の整備に取り組むことを目標とする。	生活習慣の改善による糖尿病等の生活習慣病の予防対策を進め、糖尿病等を予防することができれば、通院患者を減らすことができ、さらには重症化や合併症の発生を抑制し、入院患者を減らすことができ、この結果、国民の生活の質の維持および向上を図りながら、医療の増収の創出を推進することが可能となる。 特定健康診査は、糖尿病等の生活習慣病の重症化や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣を改善するための特定保健指導を必要とするものを、的確に抽出するために行うものである。	生活習慣病対策をはじめ被保険者の自主的な健康増進、疾病予防の取組について被保険者の特性を踏まえた効果的かつ効率的な保健事業の展開を目指すもの。被保険者の生活の質の向上により、医療費の適正化及び保険料の負担軽減化が図られることは保険者自身にとっても重要である。 保険者協議会等を活用し効果的に事業を行う。 高年齢の高齢者保健事業、介護法の地域支援事業と一体的に実施するよう努める(仮追加)	高齢者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援することや、要介護状態または要支援状態となることの予防又は、要介護状態等の軽減もしくは重症化の防止を理念としている。	国民健康維持を継続していくため、国民の生活の質の維持及び向上を確保しつつ、医療費が過度に増大しないようしていくとともに、品質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図っていく。	医療機能の分化・連携を推進することを通じて、地域において切れ目のない医療の提供を実現し、品質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図る。
対象年齢	ライフステージ（乳幼児期、若壮年期、高齢期）に応じて	40歳～74歳	被保険者全員 特に高齢者の割合が最も高くなる時期に高齢期を迎える現在の青年期・壮年期世代、小児期からの生活習慣づくり	1号被保険者 65歳以上 2号被保険者 40～64歳 特定疾病※ ※初期期の認知症、早老症、骨折・骨粗鬆症、パーキンソン病関連疾患、神経系疾患	すべて	すべて
対象疾病	メタボリックシンドローム 肥満 糖尿病 糖尿病性腎症 高血圧 脂質異常症 虚血性心疾患 脳血管疾患 慢性閉塞性肺疾患（COPD） がん ロコモティブシンドローム 認知症 メンタルヘルス	メタボリックシンドローム 肥満 糖尿病 糖尿病性腎症 高血圧 脂質異常症 虚血性心疾患 脳血管疾患	メタボリックシンドローム 肥満 糖尿病 糖尿病性腎症 高血圧 等 虚血性心疾患 脳血管疾患 こころの健康	疾病予防・介護予防 (要介護の原因疾患) 糖尿病 腎不全 生活習慣病 脳血管疾患 虚血性心疾患・心不全 認知症 フレイル 口腔機能、低栄養	メタボリックシンドローム 生活習慣病	糖尿病 心筋梗塞等の心血管疾患 脳卒中 がん 精神疾患
評価	※63項目中 特定健診に関係する項目15項目 ①脳血管疾患、虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 ②合併症（糖尿病性腎症による年間透析導入患者数） ③（糖尿病）治療継続者の割合の減少 ④血糖コントロール不良者の割合 ⑤糖尿病有病者の増加の抑制 ⑥特定健診・特定保健指導の実施率の向上 ⑦メタボ該当者、予備群の減少 ⑧高血圧の改善 ⑨脂質異常症の減少 ⑩適正体重を維持している者の増加（肥満、やせの減少） ⑪適切な量の食事をとる者の増加 ⑫日常生活における歩数の増加 ⑬運動習慣者の割合の増加 ⑭成人の喫煙率の減少 ⑮生活習慣病のリスクを高める量の飲酒者の割合	①特定健診受診率 ②特定保健指導実施率 ③メタボリック該当者・予備群の減少（国の目標） (特定保健指導対象者の減少) 【保険者努力支援制度・事業費連動分】 【保険者努力支援制度制度分】を減額し、保険料決定	健診・医療情報を活用して、費用対効果の観点も考慮 ①生活習慣の状況（特定健診の質問票を参照する） 食生活、日常生活における歩数、アルコール摂取量 喫煙の状況 ②健診受診率 ③医療費 等 【作成の手引き】 ①中長期目標 患者の質の変化、運動脈疾患・脳梗塞の発症 費用対効果、薬剤投与量の変化 ②短期的目標 血圧、血糖値、脂質等検査値の変化 食習慣、運動習慣の変化、発症行動の開始	①自立した日常生活支援に関する指標 ②要介護状態等になることの予防に関する指標 ③要介護状態等の軽減、悪化の防止に関する指標 ④介護給付の適正化に関する指標	【住民の健康の保持増進】 ①特定健診受診率 ②特定保健指導の実施率 ③メタボ該当者・予備群の減少 ④生活習慣病等の重症化予防の推進 ⑤たばこ対策 【医療の効果的な提供の推進】 ①後発医薬品の使用促進 ②医薬品の適正使用の推進 (重複投与等の防止)	①5疾病・5事業に関する目標 ②在宅医療連携体制 (地域の状況に応じて設定)
その他		保健事業支援・評価委員会（事務局：国保連合会）による計画作成支援		保険者機能強化推進交付金 介護保険保険者努力支援交付金	保険者協議会（事務局：国保連合会）を通じて、保険者との連携	

## 2 中間評価の趣旨

本市においては、平成 26 年度に第 1 期データヘルス計画を策定し、平成 30 年度から 6 年間の第 2 期データヘルス計画に基づいて、保健事業を展開している。

本年は第 2 期データヘルス計画・第 3 期特定健康診査等実施計画の中間年度であり、より効果的かつ効率的に保健事業を展開するために、進捗確認および中間評価を行う。

また、現状分析の際に参考とした国保データベースシステム（以下、「KDB システム」という）について、平成 28 年度のデータに遡って、機能改善のための改修が行われたため、中間評価では改修後の数値を記載している。

中間評価では、短期目標・中長期目標の評価を行い、それを基に、目標項目の追加を行うとともに、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について追加する。

また、医療費適正化や健康づくりに取り組む自治体等へのインセンティブ制度として、市町村国保では保険者努力支援制度が創設され、平成 30 年度から本格実施されている。国は、保険者努力支援制度の評価指標については、毎年の実績や実施状況により発展させるとしており、今回の中間評価では、現時点での評価指標を追加し、取り組みの充実を図ることとする。

## 3 中間評価の結果

### (1) 中長期目標・短期目標（アウトプット・アウトカム評価）の進捗状況

第 2 期データヘルス計画では、脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の共通リスクとなる高血圧、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム等の減少を目指し、特定健診における血圧、血糖、脂質の検査結果の改善に取り組んだ。

図表② ★目標管理一覧（中間評価分）

関連計画	達成すべき目的	課題を解決するための目標	実績				目標値	データの把握方法	
			初期値 H28	H29	H30	中間評価 R1	中間目標 R1		
特定 計画 健診等	特定健診受診率、特定保健指導の実施率を向上し、メタボ該当者、重症化予防対象者を減少	特定健診受診率の向上	35.9%	36.8%	36.2%	<b>37.7%</b>	45.0%	特定健診・特定保健指導法定報告書（国保中央会）	
		特定保健指導実施率の向上	61.6%	63.1%	63.9%	<b>67.7%</b>	63.0%		
データヘルス計画	医療費が高額となる疾患、6ヶ月以上の入院における疾患、長期化することで高額となる疾患で、要介護認定者の有病状況の多い疾患でもある脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症（人工透析患者に占める基礎疾患に糖尿病がある者の割合）の減少	脳血管疾患の新規発症の減少 （被保険者数のうち新規患者数が占める割合）	2.1%	2.0%	1.5%	<b>1.5%</b>	減少	KDBシステム・保健事業等評価分析システム	
		虚血性心疾患の新規発症の減少 （被保険者数のうち新規患者数が占める割合）	1.8%	1.7%	1.5%	<b>1.4%</b>	減少		
		糖尿病性腎症による人工透析新規導入の減少 （新規透析患者数のうち糖尿病を持つ者の人数）	7人	5人	12人	<b>6人</b>	減少		
	短期	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の血管変化における共通リスクとなる高血圧、糖尿病、脂質異常症等の減少	健診受診者の糖尿病の者の割合の減少（HbA1c7.0以上）	4.6%	5.1%	4.8%	<b>5.4%</b>	4.5%	国保連合会
			健診受診者の高血圧の者の割合の減少（160/100以上）	4.1%	4.1%	4.3%	<b>4.8%</b>	4.0%	
			健診受診者の脂質異常の者の割合の減少（LDL160以上）	12.3%	14.7%	16.4%	<b>15.9%</b>	12.0%	
	レセプトに記載されている事項を点検・審査し、医療費の適正化を図る。	レセプト点検効果率の維持・向上	0.37%	0.36%	0.35%	<b>0.29%</b>	0.4%		
	ジェネリック医薬品の普及率をあげることで、医療費の適正化を図る。	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及率向上	71.1%	73.5%	78.4%	<b>76.1%</b>	80.0%		

(2) 保健事業の評価（ストラクチャー・プロセス評価）と課題

★令和2年度までの実績を踏まえた令和3年度の課題と今後の取り組み

特定健診未受診者対策																																																																																																																																																																																																																
KDBでのデータ分析等により、健診未受診者のうち医療機関での生活習慣病の治療の有無が明らかになるため、個別受診勧奨のアプローチ方法を区別して、対象者に応じた効果的な特定健診受診勧奨を行う。																																																																																																																																																																																																																
R2年度の目標値 R1年度までの課題	評価				⑤課題と今後の取り組み																																																																																																																																																																																																											
	①プロセス (やってきた実践の過程)	②アウトプット (事業実施量)	③アウトカム (結果)	④ストラクチャー (構造)																																																																																																																																																																																																												
<p>【R2目標値】 特定健診受診率：50%</p> <p>R1年度までの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●R1年度の目標値は45%であるが、受診率は37.7%であり目標値には至っていない。しかし、H30年度と比較して1.5%増加した。これは、勧奨通知の内容を変更したことによるものが大きい。</li> <li>●感染症対策として、集団健診の1回あたりの定員を減少して実施予定。年度初めの集団健診についても実施について検討する。</li> <li>●未受診者のうち、医療機関に通院中で健診を受診していない人の割合が4割を占めている。</li> <li>●健診受診者の約9割が集団健診であり、個別健診受診者の割合が低い。</li> </ul>	<p>①健診未受診者への受診勧奨通知の送付 1回目：11月に未受診者全員に受診勧奨通知を送付。AIを活用し、未受診者をタイプ別に分けて通知。通知内容にはナッジ理論を活用。 2回目：1月に受診勧奨通知を送付予定</p> <p>②国保新規加入者への受診勧奨 被保険者証交付時に健診受診を案内</p> <p>③健診受診者への運動施設利用料金助成事業 特定健診受診者に対し、市内運動施設の利用券を送付。</p> <p>④人間ドックデータの活用</p> <p>⑤各種イベント・広報等での受診啓発事業 市健康教室で健診受診を啓発。その他健康イベントは感染拡大防止のため中止となり、健診受診を啓発する機会が減少</p>	<p>①未受診者への勧奨通知率</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>勧奨通知率</td> <td>59.3%</td> <td>100.0%</td> </tr> </table> <p>※1回目受診勧奨通知数/1回目受診勧奨通知作成時点の未受診者数</p> <p>③運動施設利用助成事業</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>助成券送付人数</td> <td>5,301人</td> </tr> <tr> <td>うち利用人数</td> <td>1,844人</td> </tr> </table>		H30	R1	勧奨通知率	59.3%	100.0%		R1	助成券送付人数	5,301人	うち利用人数	1,844人	<p>◆特定健診受診率の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">対象者数</th> <th colspan="2">受診者数</th> <th colspan="2">受診率</th> <th colspan="2">継続受診者数</th> <th colspan="2">新規受診者数</th> <th colspan="2">不定期受診者数</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>B/A</th> <th>D</th> <th>D/B<sub>(前年)</sub></th> <th>C</th> <th>C/B</th> <th>D</th> <th>D/B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>15,941</td> <td>5,512</td> <td>34.6%</td> <td>--</td> <td>--</td> <td>--</td> <td>--</td> <td>--</td> <td>--</td> <td>--</td> <td>--</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>15,640</td> <td>5,743</td> <td>36.7%</td> <td>4,132</td> <td>75.0%</td> <td>1,611</td> <td>28.1%</td> <td>--</td> <td>--</td> <td>--</td> <td>--</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>15,164</td> <td>5,446</td> <td>35.9%</td> <td>4,211</td> <td>73.3%</td> <td>886</td> <td>16.3%</td> <td>349</td> <td>6.4%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>14,701</td> <td>5,414</td> <td>36.8%</td> <td>3,978</td> <td>73.0%</td> <td>978</td> <td>18.1%</td> <td>458</td> <td>8.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>14,362</td> <td>5,199</td> <td>36.2%</td> <td>3,877</td> <td>71.6%</td> <td>740</td> <td>14.2%</td> <td>582</td> <td>11.2%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>14,187</td> <td>5,343</td> <td>37.7%</td> <td>3,841</td> <td>73.9%</td> <td>950</td> <td>17.8%</td> <td>552</td> <td>10.3%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※新規受診者は過去に1回も受診していない者 ※不定期受診者とは、前年度には受診していないものの、過去に健診を受診したことがある者</p> <p>◆R1年度 性・年代別受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>40代</th> <th>50代</th> <th>60代</th> <th>70～74歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>24.2%</td> <td>29.8%</td> <td>37.9%</td> <td>43.7%</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>21.5%</td> <td>26.6%</td> <td>35.7%</td> <td>43.9%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>27.5%</td> <td>32.9%</td> <td>39.4%</td> <td>43.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆地区別受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>順位</td> <td>市全体 35.9%</td> <td>市全体 36.8%</td> <td>市全体 36.2%</td> <td>市全体 37.7%</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>自由ヶ丘 40.6%</td> <td>自由ヶ丘 40.6%</td> <td>自由ヶ丘 40.5%</td> <td>自由ヶ丘 40.6%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>河東 38.4%</td> <td>河東 39.4%</td> <td>赤間西 38.5%</td> <td>河東 40.5%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>赤間西 37.3%</td> <td>南郷 38.9%</td> <td>河東 38.0%</td> <td>赤間西 40.1%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>池野 37.0%</td> <td>日の里 38.4%</td> <td>大島 36.9%</td> <td>池野 38.4%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>南郷 36.7%</td> <td>赤間西 37.1%</td> <td>南郷 36.5%</td> <td>日の里 37.9%</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>日の里 36.4%</td> <td>赤間 36.1%</td> <td>日の里 35.8%</td> <td>南郷 37.5%</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>赤間 35.4%</td> <td>吉武 34.0%</td> <td>池野 34.9%</td> <td>赤間 34.8%</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>吉武 34.1%</td> <td>玄海 33.5%</td> <td>赤間 34.7%</td> <td>東郷 34.7%</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>東郷 32.0%</td> <td>大島 33.3%</td> <td>吉武 34.6%</td> <td>大島 34.2%</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>玄海 31.3%</td> <td>池野 32.9%</td> <td>東郷 31.5%</td> <td>吉武 32.9%</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>大島 25.8%</td> <td>東郷 31.9%</td> <td>玄海 30.3%</td> <td>玄海 31.7%</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>岬 19.1%</td> <td>岬 21.9%</td> <td>岬 22.8%</td> <td>岬 25.6%</td> </tr> </tbody> </table>			対象者数		受診者数		受診率		継続受診者数		新規受診者数		不定期受診者数		A	B	B/A	D	D/B <sub>(前年)</sub>	C	C/B	D	D/B	H26	15,941	5,512	34.6%	--	--	--	--	--	--	--	--	--	H27	15,640	5,743	36.7%	4,132	75.0%	1,611	28.1%	--	--	--	--	--	H28	15,164	5,446	35.9%	4,211	73.3%	886	16.3%	349	6.4%				H29	14,701	5,414	36.8%	3,978	73.0%	978	18.1%	458	8.5%				H30	14,362	5,199	36.2%	3,877	71.6%	740	14.2%	582	11.2%				R1	14,187	5,343	37.7%	3,841	73.9%	950	17.8%	552	10.3%					40代	50代	60代	70～74歳	総数	24.2%	29.8%	37.9%	43.7%	男性	21.5%	26.6%	35.7%	43.9%	女性	27.5%	32.9%	39.4%	43.5%		H28	H29	H30	R1	順位	市全体 35.9%	市全体 36.8%	市全体 36.2%	市全体 37.7%	1	自由ヶ丘 40.6%	自由ヶ丘 40.6%	自由ヶ丘 40.5%	自由ヶ丘 40.6%	2	河東 38.4%	河東 39.4%	赤間西 38.5%	河東 40.5%	3	赤間西 37.3%	南郷 38.9%	河東 38.0%	赤間西 40.1%	4	池野 37.0%	日の里 38.4%	大島 36.9%	池野 38.4%	5	南郷 36.7%	赤間西 37.1%	南郷 36.5%	日の里 37.9%	6	日の里 36.4%	赤間 36.1%	日の里 35.8%	南郷 37.5%	7	赤間 35.4%	吉武 34.0%	池野 34.9%	赤間 34.8%	8	吉武 34.1%	玄海 33.5%	赤間 34.7%	東郷 34.7%	9	東郷 32.0%	大島 33.3%	吉武 34.6%	大島 34.2%	10	玄海 31.3%	池野 32.9%	東郷 31.5%	吉武 32.9%	11	大島 25.8%	東郷 31.9%	玄海 30.3%	玄海 31.7%	12	岬 19.1%	岬 21.9%	岬 22.8%	岬 25.6%	<p>①勧奨通知用の予算確保を図った。感染拡大防止のため、4～6月上旬の集団健診を中止。開始後も1回あたりの定員を減少して実施。</p> <p>④福岡県医師会加入の人間ドック等実施機関のうち、事業参加意向を示した実施機関と契約を締結。</p> <p>⑤感染拡大防止のため、地域の健康イベントはほとんど中止。</p>	<p>課題検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●R3年度も感染対策を講じて集団健診を実施する必要があるため、1回あたり定員を減少して実施。</li> <li>●勧奨通知については、マンネリ化しないように年代や性別なども考慮した内容とする。</li> <li>●医療機関に通院中の者の健診受診率が低いことから、個別健診の受診勧奨について、医療機関に依頼する。</li> <li>●受診券の様式、送付方法を見直し、個別健診を受診しやすい体制を整える。</li> <li>●40歳になる者に対する案内を検討する。</li> <li>●地区により健診受診率に差があるため、地域の課題を把握し、今後の対策を検討する。</li> </ul>
	H30	R1																																																																																																																																																																																																														
勧奨通知率	59.3%	100.0%																																																																																																																																																																																																														
	R1																																																																																																																																																																																																															
助成券送付人数	5,301人																																																																																																																																																																																																															
うち利用人数	1,844人																																																																																																																																																																																																															
	対象者数		受診者数		受診率		継続受診者数		新規受診者数		不定期受診者数																																																																																																																																																																																																					
	A	B	B/A	D	D/B <sub>(前年)</sub>	C	C/B	D	D/B																																																																																																																																																																																																							
H26	15,941	5,512	34.6%	--	--	--	--	--	--	--	--	--																																																																																																																																																																																																				
H27	15,640	5,743	36.7%	4,132	75.0%	1,611	28.1%	--	--	--	--	--																																																																																																																																																																																																				
H28	15,164	5,446	35.9%	4,211	73.3%	886	16.3%	349	6.4%																																																																																																																																																																																																							
H29	14,701	5,414	36.8%	3,978	73.0%	978	18.1%	458	8.5%																																																																																																																																																																																																							
H30	14,362	5,199	36.2%	3,877	71.6%	740	14.2%	582	11.2%																																																																																																																																																																																																							
R1	14,187	5,343	37.7%	3,841	73.9%	950	17.8%	552	10.3%																																																																																																																																																																																																							
	40代	50代	60代	70～74歳																																																																																																																																																																																																												
総数	24.2%	29.8%	37.9%	43.7%																																																																																																																																																																																																												
男性	21.5%	26.6%	35.7%	43.9%																																																																																																																																																																																																												
女性	27.5%	32.9%	39.4%	43.5%																																																																																																																																																																																																												
	H28	H29	H30	R1																																																																																																																																																																																																												
順位	市全体 35.9%	市全体 36.8%	市全体 36.2%	市全体 37.7%																																																																																																																																																																																																												
1	自由ヶ丘 40.6%	自由ヶ丘 40.6%	自由ヶ丘 40.5%	自由ヶ丘 40.6%																																																																																																																																																																																																												
2	河東 38.4%	河東 39.4%	赤間西 38.5%	河東 40.5%																																																																																																																																																																																																												
3	赤間西 37.3%	南郷 38.9%	河東 38.0%	赤間西 40.1%																																																																																																																																																																																																												
4	池野 37.0%	日の里 38.4%	大島 36.9%	池野 38.4%																																																																																																																																																																																																												
5	南郷 36.7%	赤間西 37.1%	南郷 36.5%	日の里 37.9%																																																																																																																																																																																																												
6	日の里 36.4%	赤間 36.1%	日の里 35.8%	南郷 37.5%																																																																																																																																																																																																												
7	赤間 35.4%	吉武 34.0%	池野 34.9%	赤間 34.8%																																																																																																																																																																																																												
8	吉武 34.1%	玄海 33.5%	赤間 34.7%	東郷 34.7%																																																																																																																																																																																																												
9	東郷 32.0%	大島 33.3%	吉武 34.6%	大島 34.2%																																																																																																																																																																																																												
10	玄海 31.3%	池野 32.9%	東郷 31.5%	吉武 32.9%																																																																																																																																																																																																												
11	大島 25.8%	東郷 31.9%	玄海 30.3%	玄海 31.7%																																																																																																																																																																																																												
12	岬 19.1%	岬 21.9%	岬 22.8%	岬 25.6%																																																																																																																																																																																																												

**特定保健指導事業**

内臓脂肪型肥満に着目し、生活習慣を改善するための保健指導を行うことにより、対象者が自らの生活習慣における課題を認識し、行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活を維持することができるようになることを通じて、糖尿病等の生活習慣病を予防する。

R2年度の目標値 R1年度までの課題	評 価				⑤課題と今後の取り組み																																																																											
	①プロセス (やってきた実践の過程)	②アウトプット (事業実施量)	③アウトカム (結 果)	④ストラクチャー (構 造)																																																																												
<p><b>【R2目標値】</b> 特定保健指導実施率：63%</p> <p>R1年度までの課題 ●R1年度の特定保健指導実施率の目標値は63%であるが、実施率は67.7%であり、目標を達成している。</p> <p>●感染対策を講じた訪問方法を検討する。</p> <p>●メタボ該当者・予備群の割合は県内でも50位以下と低い方ではあるが、H28年度は24.7%、R1年度は26.0%と微増している。</p> <p>●集団健診は2機関で実施しているが、H30年度からそのうちの1つの機関で健診当日に会場で保健指導を実施している。</p> <p>●個別健診受診者については、特定保健指導を実施していない。</p>	<p>①訪問による個別指導の実施。 事前連絡なしに訪問を行っていたが、感染対策として事前に電話してから訪問するように変更。その他、消毒液の持参など、感染対策を講じて実施。</p> <p>②健診会場での特定保健指導の実施 地域健診では健診会場で特定健診受診者全員に保健指導を実施。特に、不在や断り等の理由で過去に特定保健指導を実施できなかった者については、健診会場で特定保健指導の初回面接を実施し、更なる実施率向上につなげていく。</p> <p>③土日・夜間の特定保健指導を外都委託 平日に会えない対象者に対して、土日・夜間の保健指導について、周知の方法を変更し、よりわかりやすい形式とした。</p> <p>④特定保健指導対象者のうち初回面接を実施した者について、初回面接日から6か月間、市内運動施設（プール・ジム）の利用料金の半額を助成。</p>	<p>④運動施設半額助成事業（年間利用実人数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実人数</td> <td>65人</td> <td>40人</td> <td>46人</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆特定保健指導実施率（男女別）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>638人</td> <td>623人</td> <td>628人</td> <td>643人</td> </tr> <tr> <td>終了者数</td> <td>393人</td> <td>393人</td> <td>401人</td> <td>435人</td> </tr> <tr> <td>終了率</td> <td>61.6%</td> <td>63.1%</td> <td>63.9%</td> <td>67.7%</td> </tr> <tr> <td>終了率（男性）</td> <td>56.9%</td> <td>57.3%</td> <td>60.4%</td> <td>64.5%</td> </tr> <tr> <td>終了率（女性）</td> <td>70.9%</td> <td>76.3%</td> <td>70.8%</td> <td>73.5%</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	R1	利用実人数	65人	40人	46人	27人		H28	H29	H30	R1	対象者数	638人	623人	628人	643人	終了者数	393人	393人	401人	435人	終了率	61.6%	63.1%	63.9%	67.7%	終了率（男性）	56.9%	57.3%	60.4%	64.5%	終了率（女性）	70.9%	76.3%	70.8%	73.5%	<p>◆特定保健指導対象者の減少率（前年度比）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>18.7%</td> <td>19.7%</td> <td>17.7%</td> <td>16.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆メタボ該当者・予備群の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診受診者数</td> <td>5,446人</td> <td>5,414人</td> <td>5,199人</td> <td>5,343人</td> </tr> <tr> <td>メタボ該当者数</td> <td>765人</td> <td>807人</td> <td>725人</td> <td>856人</td> </tr> <tr> <td>メタボ予備群数</td> <td>581人</td> <td>545人</td> <td>551人</td> <td>535人</td> </tr> <tr> <td>該当者・予備群割合</td> <td>24.7%</td> <td>25.0%</td> <td>24.5%</td> <td>26.0%</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	R1		18.7%	19.7%	17.7%	16.7%		H28	H29	H30	R1	特定健診受診者数	5,446人	5,414人	5,199人	5,343人	メタボ該当者数	765人	807人	725人	856人	メタボ予備群数	581人	545人	551人	535人	該当者・予備群割合	24.7%	25.0%	24.5%	26.0%	<p>① 感染拡大防止のため、4～6月は訪問を中止。7月から開始とした。</p> <p>② 集団健診が開始された6月中旬から実施。</p>	<p>課題検討</p> <p>●感染対策として、事前連絡してから訪問するようにしたが、電話をした時点で指導を断られるケースも多く、実施率の減少が見込まれる。オンライン面談も含めた実施方法の検討を行う。</p> <p>●特定保健指導実施率向上のため、健診会場での特定保健指導の初回面接の実施人数を増加する。</p> <p>●夜間や土日に保健指導を利用できることの周知を図る。</p> <p>●運動施設半額助成の利用人数が減少しているため、周知方法を検討する。</p> <p>●個別健診受診者の保健指導実施の検討。</p>
	H28	H29	H30	R1																																																																												
利用実人数	65人	40人	46人	27人																																																																												
	H28	H29	H30	R1																																																																												
対象者数	638人	623人	628人	643人																																																																												
終了者数	393人	393人	401人	435人																																																																												
終了率	61.6%	63.1%	63.9%	67.7%																																																																												
終了率（男性）	56.9%	57.3%	60.4%	64.5%																																																																												
終了率（女性）	70.9%	76.3%	70.8%	73.5%																																																																												
	H28	H29	H30	R1																																																																												
	18.7%	19.7%	17.7%	16.7%																																																																												
	H28	H29	H30	R1																																																																												
特定健診受診者数	5,446人	5,414人	5,199人	5,343人																																																																												
メタボ該当者数	765人	807人	725人	856人																																																																												
メタボ予備群数	581人	545人	551人	535人																																																																												
該当者・予備群割合	24.7%	25.0%	24.5%	26.0%																																																																												

### 生活習慣病の発症予防

特定健診、健康相談、健康教室、地域における健康づくり事業、広報活動等を通して、生活習慣病予防・健康づくりに関する啓発を行い、被保険者や市民の健康意識の向上を図る。

R2年度目標値 R1年度までの課題	評 価				⑤課題と今後の取り組み																																													
	①プロセス (やってきた実践の過程)	②アウトプット (事業実施量)	③アウトカム (結果)	④ストラクチャー (構造)																																														
<p>【R2目標値】 糖尿病の者の割合：4.0% (HbA1c7.0以上の者) 高血圧の者の割合：3.5% (160/100以上) 脂質異常の者の割合：11.0% (LDL-c160以上)</p> <p>R1年度までの課題 ●感染拡大防止のため、健康イベント等の実施について検討を行う。</p> <p>●個人へのインセンティブの提供について、実施方法を検討する。</p>	<p>①健診当日における保健指導の実施 地域健診で健診当日に健診受診者全員に保健指導を実施。</p> <p>②生活習慣病予防教室の実施 ・糖尿病休日1日コース ・糖尿病平日5回コース ・動脈硬化4回コース 健診受診者から対象者を抽出し、受講勧奨通知を送付。糖尿病休日コースでは、医師を講師として招き実施。</p> <p>③ルックルック講座（市民公開講座）の実施 コミュニティ（地域）や市民の団体からの依頼により、生活習慣病や介護予防、体力テスト等の講座を実施。</p> <p>④健康マルシェの実施 感染拡大防止のため、健康マルシェは中止。</p> <p>⑤個人へのインセンティブの検討 福岡県が実施している「ふくおか健康ポイントアプリ」の活用を検討する。教室や健診の機会を通じてアプリの登録を呼びかける。</p>	<p>①健診当日の保健指導実施人数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>H30</th><th>R1</th></tr> <tr><td>1,674人</td><td>1,487人</td></tr> </table> <p>②生活習慣病予防教室受講実人数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th></th><th>R1</th></tr> <tr><td>糖尿病休日</td><td>20人</td></tr> <tr><td>糖尿病平日</td><td>38人</td></tr> <tr><td>動脈硬化</td><td>38人</td></tr> </table> <p>③ルックルック講座実施実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th></th><th>H30</th><th>R1</th></tr> <tr><td>実施回数</td><td>48回</td><td>35回</td></tr> <tr><td>参加述べ人数</td><td>1,215人</td><td>857人</td></tr> </table> <p>④健康マルシェ参加人数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>H30</th><th>R1</th></tr> <tr><td>889人</td><td>985人</td></tr> </table>	H30	R1	1,674人	1,487人		R1	糖尿病休日	20人	糖尿病平日	38人	動脈硬化	38人		H30	R1	実施回数	48回	35回	参加述べ人数	1,215人	857人	H30	R1	889人	985人	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th></th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> <tr><td>糖尿病の者の割合 HbA1c7.0以上</td><td>4.6%</td><td>5.1%</td><td>4.8%</td><td>5.4%</td></tr> <tr><td>高血圧の者の割合 160/100以上</td><td>4.1%</td><td>4.1%</td><td>4.3%</td><td>4.8%</td></tr> <tr><td>脂質異常の者の割合 LDL-c160以上</td><td>12.3%</td><td>14.7%</td><td>16.4%</td><td>15.9%</td></tr> </table>		H28	H29	H30	R1	糖尿病の者の割合 HbA1c7.0以上	4.6%	5.1%	4.8%	5.4%	高血圧の者の割合 160/100以上	4.1%	4.1%	4.3%	4.8%	脂質異常の者の割合 LDL-c160以上	12.3%	14.7%	16.4%	15.9%	<p>① 感染拡大防止のため、4～6月は訪問を中止。7月から開始とした。</p> <p>② 感染症対策として、6月に実施予定だった糖尿病休日コースを11月に延期。また、定員を半分以上に減少し（18人）実施。調理実習も中止。</p> <p>⑤ 「ふくおか健康ポイントアプリ」の管理者権限を持ち、登録者数などを把握する。</p>	<p>課題検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活習慣病予防教室については、感染対策を講じた上で実施。また定員や内容も検討する。</li> <li>●健康マルシェ等も、感染状況に応じて、事業実施可否も含め検討する。</li> <li>●「ふくおか健康ポイントアプリ」の活用の推進を図り、運動習慣定着の動機づけと健康意識の向上につなげる。</li> </ul>
H30	R1																																																	
1,674人	1,487人																																																	
	R1																																																	
糖尿病休日	20人																																																	
糖尿病平日	38人																																																	
動脈硬化	38人																																																	
	H30	R1																																																
実施回数	48回	35回																																																
参加述べ人数	1,215人	857人																																																
H30	R1																																																	
889人	985人																																																	
	H28	H29	H30	R1																																														
糖尿病の者の割合 HbA1c7.0以上	4.6%	5.1%	4.8%	5.4%																																														
高血圧の者の割合 160/100以上	4.1%	4.1%	4.3%	4.8%																																														
脂質異常の者の割合 LDL-c160以上	12.3%	14.7%	16.4%	15.9%																																														



## 生活習慣病の重症化予防

特定健診結果やレセプト情報から重症化するリスクの高い者を抽出し、医療機関への受診勧奨や保健指導を行うことで、脳血管疾患、虚血性心疾患の新規発症の減少と糖尿病性腎症による人工透析新規導入の減少を目指す。

R2年度目標値 R1年度までの課題	評 価				⑤課題と今後の取り組み																																																																																																																																																																																																																																																																								
	①プロセス (やってきた実践の過程)	②アウトプット (事業実施量)	③アウトカム (結果)	④ストラクチャー (構造)																																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>【R2目標値】 糖尿病の者の割合：4.0% (HbA1c7.0以上の者) 高血圧の者の割合：3.5% (160/100以上) 脂質異常の者の割合：11.0% (LDL-c160以上)</p> <p>H30年度までの課題 ●脂質異常 (LDL-c160以上) の者の割合が、R1年度は15.9%と県内で4位であった。</p>	<p>特定健診結果における重症化予防対象者の基準を定め、高血糖、高血圧、脂質異常、腎障害があり、医療機関への受診が必要な人を重症化予防の対象者として抽出。医療機関への受診勧奨とともに、食事・運動など生活習慣に関する保健指導を実施。指導については、基本的に電話により実施。</p> <p>◆重症化予防対象者抽出基準（特定健診結果から）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収縮期血圧</td> <td rowspan="2">mmHg</td> <td>160～</td> </tr> <tr> <td>拡張期血圧</td> <td>100～</td> </tr> <tr> <td>尿蛋白</td> <td></td> <td>(+)～</td> </tr> <tr> <td>e-GFR</td> <td>ml / 分 / 1.73㎡</td> <td>70歳未満は50以下 70歳以上は40以下</td> </tr> <tr> <td>L D L - c</td> <td>mg / dl</td> <td>180～</td> </tr> <tr> <td>中性脂肪</td> <td>mg / dl</td> <td>300～</td> </tr> <tr> <td>H b A 1 c</td> <td>%</td> <td>6.5～</td> </tr> </tbody> </table>		単位	基準	収縮期血圧	mmHg	160～	拡張期血圧	100～	尿蛋白		(+)～	e-GFR	ml / 分 / 1.73㎡	70歳未満は50以下 70歳以上は40以下	L D L - c	mg / dl	180～	中性脂肪	mg / dl	300～	H b A 1 c	%	6.5～	<p>◆受診勧奨及び保健指導実施率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>579人</td> <td>646人</td> <td>596人</td> <td>650人</td> </tr> <tr> <td>実施者数</td> <td>524人</td> <td>586人</td> <td>535人</td> <td>554人</td> </tr> <tr> <td>実施率</td> <td>90.5%</td> <td>90.7%</td> <td>89.8%</td> <td>85.2%</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	R1	対象者数	579人	646人	596人	650人	実施者数	524人	586人	535人	554人	実施率	90.5%	90.7%	89.8%	85.2%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病の者の割合 HbA1c7.0以上</td> <td>4.6%</td> <td>5.1%</td> <td>4.8%</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>高血圧の者の割合 160/100以上</td> <td>4.1%</td> <td>4.1%</td> <td>4.3%</td> <td>4.8%</td> </tr> <tr> <td>脂質異常の者の割合 LDL-c160以上</td> <td>12.3%</td> <td>14.7%</td> <td>16.4%</td> <td>15.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆脳血管疾患の新規患者の状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th rowspan="3">被保険者数</th> <th colspan="2">脳血管疾患患者数 (様式3-6)</th> <th colspan="6">新規患者数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">B</th> <th rowspan="2">B/A</th> <th rowspan="2">C</th> <th rowspan="2">C/B</th> <th rowspan="2">C/A</th> <th colspan="3">診断月入院あり</th> </tr> <tr> <th>D</th> <th>D/C</th> <th>E</th> <th>E/D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>21,569人</td> <td>901人</td> <td>4.2%</td> <td>453人</td> <td>50.3%</td> <td>2.1%</td> <td>105人</td> <td>23.2%</td> <td>85人</td> <td>81.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>21,570人</td> <td>904人</td> <td>4.2%</td> <td>431人</td> <td>47.7%</td> <td>2.0%</td> <td>112人</td> <td>26.0%</td> <td>81人</td> <td>72.3%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>21,027人</td> <td>863人</td> <td>4.1%</td> <td>314人</td> <td>36.4%</td> <td>1.5%</td> <td>101人</td> <td>32.2%</td> <td>88人</td> <td>87.1%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>20,394人</td> <td>836人</td> <td>4.1%</td> <td>303人</td> <td>36.2%</td> <td>1.5%</td> <td>90人</td> <td>29.7%</td> <td>69人</td> <td>76.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆虚血性心疾患の新規患者の状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th rowspan="3">被保険者数</th> <th colspan="2">虚血性心疾患患者数 (様式3-5)</th> <th colspan="6">新規患者数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">B</th> <th rowspan="2">B/A</th> <th rowspan="2">C</th> <th rowspan="2">C/B</th> <th rowspan="2">C/A</th> <th colspan="3">診断月入院あり</th> </tr> <tr> <th>D</th> <th>D/C</th> <th>E</th> <th>E/D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>21,569人</td> <td>925人</td> <td>4.3%</td> <td>391人</td> <td>42.3%</td> <td>1.8%</td> <td>102人</td> <td>26.1%</td> <td>80人</td> <td>78.4%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>21,570人</td> <td>904人</td> <td>4.2%</td> <td>363人</td> <td>40.2%</td> <td>1.7%</td> <td>93人</td> <td>25.6%</td> <td>73人</td> <td>78.5%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>21,027人</td> <td>889人</td> <td>4.2%</td> <td>308人</td> <td>34.6%</td> <td>1.5%</td> <td>78人</td> <td>25.3%</td> <td>65人</td> <td>83.3%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>20,394人</td> <td>853人</td> <td>4.2%</td> <td>287人</td> <td>33.6%</td> <td>1.4%</td> <td>66人</td> <td>23.0%</td> <td>49人</td> <td>74.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆人工透析の新規患者の状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th rowspan="3">被保険者数</th> <th colspan="2">人工透析患者数 (様式3-7)</th> <th colspan="6">新規患者数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">B</th> <th rowspan="2">B/A</th> <th rowspan="2">C</th> <th rowspan="2">C/B</th> <th rowspan="2">C/A</th> <th colspan="3">診断月入院あり かつ糖尿病あり</th> </tr> <tr> <th>D</th> <th>D/C</th> <th>E</th> <th>E/C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>21,569人</td> <td>28人</td> <td>0.1%</td> <td>8人</td> <td>28.6%</td> <td>0.04%</td> <td>7人</td> <td>87.5%</td> <td>6人</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>21,570人</td> <td>27人</td> <td>0.1%</td> <td>6人</td> <td>22.2%</td> <td>0.03%</td> <td>4人</td> <td>66.7%</td> <td>4人</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>21,027人</td> <td>23人</td> <td>0.1%</td> <td>15人</td> <td>65.2%</td> <td>0.07%</td> <td>11人</td> <td>73.3%</td> <td>10人</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>20,394人</td> <td>24人</td> <td>0.1%</td> <td>8人</td> <td>33.3%</td> <td>0.04%</td> <td>6人</td> <td>75.0%</td> <td>6人</td> <td>75.0%</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	R1	糖尿病の者の割合 HbA1c7.0以上	4.6%	5.1%	4.8%	5.4%	高血圧の者の割合 160/100以上	4.1%	4.1%	4.3%	4.8%	脂質異常の者の割合 LDL-c160以上	12.3%	14.7%	16.4%	15.9%		被保険者数	脳血管疾患患者数 (様式3-6)		新規患者数						A	B	B/A	C	C/B	C/A	診断月入院あり			D	D/C	E	E/D	H28	21,569人	901人	4.2%	453人	50.3%	2.1%	105人	23.2%	85人	81.0%	H29	21,570人	904人	4.2%	431人	47.7%	2.0%	112人	26.0%	81人	72.3%	H30	21,027人	863人	4.1%	314人	36.4%	1.5%	101人	32.2%	88人	87.1%	R1	20,394人	836人	4.1%	303人	36.2%	1.5%	90人	29.7%	69人	76.7%		被保険者数	虚血性心疾患患者数 (様式3-5)		新規患者数						A	B	B/A	C	C/B	C/A	診断月入院あり			D	D/C	E	E/D	H28	21,569人	925人	4.3%	391人	42.3%	1.8%	102人	26.1%	80人	78.4%	H29	21,570人	904人	4.2%	363人	40.2%	1.7%	93人	25.6%	73人	78.5%	H30	21,027人	889人	4.2%	308人	34.6%	1.5%	78人	25.3%	65人	83.3%	R1	20,394人	853人	4.2%	287人	33.6%	1.4%	66人	23.0%	49人	74.2%		被保険者数	人工透析患者数 (様式3-7)		新規患者数						A	B	B/A	C	C/B	C/A	診断月入院あり かつ糖尿病あり			D	D/C	E	E/C	H28	21,569人	28人	0.1%	8人	28.6%	0.04%	7人	87.5%	6人	75.0%	H29	21,570人	27人	0.1%	6人	22.2%	0.03%	4人	66.7%	4人	66.7%	H30	21,027人	23人	0.1%	15人	65.2%	0.07%	11人	73.3%	10人	66.7%	R1	20,394人	24人	0.1%	8人	33.3%	0.04%	6人	75.0%	6人	75.0%	<p>・感染対策として、事前連絡なしの訪問ではなく、電話での受診勧奨・保健指導を実施する。</p> <p>・受診勧奨後に医療機関を受診しているか確認を行う体制を整え、未受診者については再度受診勧奨を行う。</p>	<p>課題検討</p> <p>●感染対策として、電話で受診勧奨・保健指導を実施しているが、電話がつかないケースも多く、実施方法について検討する。</p>
	単位	基準																																																																																																																																																																																																																																																																											
収縮期血圧	mmHg	160～																																																																																																																																																																																																																																																																											
拡張期血圧		100～																																																																																																																																																																																																																																																																											
尿蛋白		(+)～																																																																																																																																																																																																																																																																											
e-GFR	ml / 分 / 1.73㎡	70歳未満は50以下 70歳以上は40以下																																																																																																																																																																																																																																																																											
L D L - c	mg / dl	180～																																																																																																																																																																																																																																																																											
中性脂肪	mg / dl	300～																																																																																																																																																																																																																																																																											
H b A 1 c	%	6.5～																																																																																																																																																																																																																																																																											
	H28	H29	H30	R1																																																																																																																																																																																																																																																																									
対象者数	579人	646人	596人	650人																																																																																																																																																																																																																																																																									
実施者数	524人	586人	535人	554人																																																																																																																																																																																																																																																																									
実施率	90.5%	90.7%	89.8%	85.2%																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H28	H29	H30	R1																																																																																																																																																																																																																																																																									
糖尿病の者の割合 HbA1c7.0以上	4.6%	5.1%	4.8%	5.4%																																																																																																																																																																																																																																																																									
高血圧の者の割合 160/100以上	4.1%	4.1%	4.3%	4.8%																																																																																																																																																																																																																																																																									
脂質異常の者の割合 LDL-c160以上	12.3%	14.7%	16.4%	15.9%																																																																																																																																																																																																																																																																									
	被保険者数	脳血管疾患患者数 (様式3-6)		新規患者数																																																																																																																																																																																																																																																																									
		A	B	B/A	C	C/B	C/A	診断月入院あり																																																																																																																																																																																																																																																																					
								D	D/C	E	E/D																																																																																																																																																																																																																																																																		
H28	21,569人	901人	4.2%	453人	50.3%	2.1%	105人	23.2%	85人	81.0%																																																																																																																																																																																																																																																																			
H29	21,570人	904人	4.2%	431人	47.7%	2.0%	112人	26.0%	81人	72.3%																																																																																																																																																																																																																																																																			
H30	21,027人	863人	4.1%	314人	36.4%	1.5%	101人	32.2%	88人	87.1%																																																																																																																																																																																																																																																																			
R1	20,394人	836人	4.1%	303人	36.2%	1.5%	90人	29.7%	69人	76.7%																																																																																																																																																																																																																																																																			
	被保険者数	虚血性心疾患患者数 (様式3-5)		新規患者数																																																																																																																																																																																																																																																																									
		A	B	B/A	C	C/B	C/A	診断月入院あり																																																																																																																																																																																																																																																																					
								D	D/C	E	E/D																																																																																																																																																																																																																																																																		
H28	21,569人	925人	4.3%	391人	42.3%	1.8%	102人	26.1%	80人	78.4%																																																																																																																																																																																																																																																																			
H29	21,570人	904人	4.2%	363人	40.2%	1.7%	93人	25.6%	73人	78.5%																																																																																																																																																																																																																																																																			
H30	21,027人	889人	4.2%	308人	34.6%	1.5%	78人	25.3%	65人	83.3%																																																																																																																																																																																																																																																																			
R1	20,394人	853人	4.2%	287人	33.6%	1.4%	66人	23.0%	49人	74.2%																																																																																																																																																																																																																																																																			
	被保険者数	人工透析患者数 (様式3-7)		新規患者数																																																																																																																																																																																																																																																																									
		A	B	B/A	C	C/B	C/A	診断月入院あり かつ糖尿病あり																																																																																																																																																																																																																																																																					
								D	D/C	E	E/C																																																																																																																																																																																																																																																																		
H28	21,569人	28人	0.1%	8人	28.6%	0.04%	7人	87.5%	6人	75.0%																																																																																																																																																																																																																																																																			
H29	21,570人	27人	0.1%	6人	22.2%	0.03%	4人	66.7%	4人	66.7%																																																																																																																																																																																																																																																																			
H30	21,027人	23人	0.1%	15人	65.2%	0.07%	11人	73.3%	10人	66.7%																																																																																																																																																																																																																																																																			
R1	20,394人	24人	0.1%	8人	33.3%	0.04%	6人	75.0%	6人	75.0%																																																																																																																																																																																																																																																																			

## 糖尿病性腎症重症化予防

特定健診結果やレセプト情報から糖尿病性腎症による人工透析リスクの高い者を抽出し、医療機関への受診勧奨やかかりつけ医との連携による保健指導を行うことで、人工透析の新規導入者の減少と対象者及び家族のQOLの向上を目指す。

R2年度の目標値 R1年度までの課題	評 価				⑤課題と今後の取り組み																																																																								
	①プロセス (やってきた実践の過程)	②アウトプット (事業実施量)	③アウトカム (結 果)	④ストラクチャー (構 造)																																																																									
<p><b>【R2目標値】</b> 事業参加者のうち検査データが改善した割合：75%</p> <p>R1年度までの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●H30年度から開始した事業であり、本事業の参加同意数が少なく、同意率を上げる方法を検討する。</li> <li>●連携医療機関数が少ないため、宗像医師会員への更なる周知が必要である。</li> </ul>	<p>①宗像地区糖尿病性腎症重症化予防事業 本事業は宗像地区糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、宗像医師会・保健所・福津市と連携して平成30年度から実施。プログラムでは対象者基準を定め、対象者を健診結果及びレセプト情報から抽出。 市健康課の保健師・管理栄養士が保健指導を実施。対象者のうち、宗像医師会管内医療機関に通院中もしくは通院予定の者に実施。</p> <p>②外部委託事業 宗像地区プログラムが策定される前から市国保医療課が委託で実施。対象者は、宗像医師会圏外医療機関に通院中の者で、前年度のレセプトから糖尿病性腎症病期分類2～4期の者を抽出。 委託業者が対象者に本事業の案内を郵送にて通知し、参加希望をする者が申し込む。対象者には電話や面談等で6か月間保健指導を実施。主治医との連携は、書面により行う。</p>	<p>①実施実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業対象者</td> <td>164人</td> <td>191人</td> </tr> <tr> <td>市優先対象者</td> <td>35人</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>本プログラム説明者</td> <td>26人</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>参加同意者</td> <td>10人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>医師から保健指導指示有</td> <td>5人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>6か月支援終了者</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>連携医療機関数</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>②実施実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>抽出対象者</td> <td>43人</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>指導実施者</td> <td>6人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>完了者</td> <td>1人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	事業対象者	164人	191人	市優先対象者	35人	63人	本プログラム説明者	26人	49人	参加同意者	10人	8人	医師から保健指導指示有	5人	3人	6か月支援終了者	3人	3人	連携医療機関数	3	3		H30	R1	抽出対象者	43人	49人	指導実施者	6人	12人	完了者	1人	4人	<p>①受診勧奨対象者の受診割合（短期）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診勧奨対象者※</td> <td>22人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>受診勧奨後受診した者</td> <td>16人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>受診勧奨後受診した割合</td> <td>72.7%</td> <td>26.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※抽出時、糖尿病未受診者・中断者</p> <p>①6か月支援終了者のうち検査データが改善した者の割合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6か月支援終了者</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>1年後にHbA1cが改善した者</td> <td>2人</td> <td>集計中</td> </tr> <tr> <td>HbA1cが改善した割合</td> <td>66.7%</td> <td>集計中</td> </tr> </tbody> </table> <p>②指導実施者のうち検査データが改善した者の割合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指導実施者 検査値不明者を含む</td> <td>6人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>改善者</td> <td>3人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>HbA1cが改善した割合</td> <td>50.0%</td> <td>41.7%</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	受診勧奨対象者※	22人	30人	受診勧奨後受診した者	16人	8人	受診勧奨後受診した割合	72.7%	26.7%		H30	R1	6か月支援終了者	3人	3人	1年後にHbA1cが改善した者	2人	集計中	HbA1cが改善した割合	66.7%	集計中		H30	R1	指導実施者 検査値不明者を含む	6人	12人	改善者	3人	5人	HbA1cが改善した割合	50.0%	41.7%	<p>① ・医師会にて本事業を周知する文書を配布（10月）  ・宗像市内の医師会員で構成される東部会にて本事業を周知。</p> <p>② 面談での保健指導を対面方式とタブレットによる遠隔方式のいずれかを選択できるようにした。</p>	<p>課題検討</p> <p>① ●宗像医師会との連携体制の更なる強化のため、本事業周知文書は毎年送付する。また、医療機関への訪問等は継続して実施する。  ●糖尿病連携手帳の活用を進める。  ●薬剤師会や歯科医師会との連携について検討を行う。  ●県プログラムの改正が行われた際には、宗像地区のプログラムについても内容の見直しを行う。</p> <p>② 「医師の指導を受けている」ことなどを理由に本事業の参加や指導を拒否され、完了まで到達するものが少ない。引き続き、タブレット活用等の新たな取り組みの検討を行う。</p>
	H30	R1																																																																											
事業対象者	164人	191人																																																																											
市優先対象者	35人	63人																																																																											
本プログラム説明者	26人	49人																																																																											
参加同意者	10人	8人																																																																											
医師から保健指導指示有	5人	3人																																																																											
6か月支援終了者	3人	3人																																																																											
連携医療機関数	3	3																																																																											
	H30	R1																																																																											
抽出対象者	43人	49人																																																																											
指導実施者	6人	12人																																																																											
完了者	1人	4人																																																																											
	H30	R1																																																																											
受診勧奨対象者※	22人	30人																																																																											
受診勧奨後受診した者	16人	8人																																																																											
受診勧奨後受診した割合	72.7%	26.7%																																																																											
	H30	R1																																																																											
6か月支援終了者	3人	3人																																																																											
1年後にHbA1cが改善した者	2人	集計中																																																																											
HbA1cが改善した割合	66.7%	集計中																																																																											
	H30	R1																																																																											
指導実施者 検査値不明者を含む	6人	12人																																																																											
改善者	3人	5人																																																																											
HbA1cが改善した割合	50.0%	41.7%																																																																											

### その他の医療費適正化（重複・頻回受診者対策）

レセプト点検や訪問健康相談支援システムで発見した重複・頻回受診者、重複・多剤服薬者に対し、適正受診・適正服薬を促すための取り組みを行う。

R2年度の目標値 R1年度までの課題	評 価				⑤課題と今後の取り組み																														
	①プロセス (やってきた実践の過程)	②アウトプット (事業実施量)	③アウトカム (結果)	④ストラクチャー (構造)																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>●重複・頻回受診者、重複・多剤服薬者割合の減少</li> <li>●H30年度までは、重複・多剤服薬者を訪問指導の対象としていない</li> </ul>	<p>・7月に契約締結し、抽出した対象者に対して訪問指導を実施している。</p>	<p>・指導実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間指導回数</td> <td>68</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	年間指導回数	68	110	<p>・指導結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国保被保険者数</td> <td>12,041</td> <td>12,164</td> </tr> <tr> <td>重複頻回受診者数</td> <td>341</td> <td>273</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>2.83%</td> <td>2.24%</td> </tr> <tr> <td>重複多剤服薬者数</td> <td>—</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>—</td> <td>0.72%</td> </tr> <tr> <td>実指導人数</td> <td>34</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>のべ指導回数</td> <td>68</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	国保被保険者数	12,041	12,164	重複頻回受診者数	341	273	割合	2.83%	2.24%	重複多剤服薬者数	—	88	割合	—	0.72%	実指導人数	34	66	のべ指導回数	68	110	<p>・国保連合会の共同事業である訪問健康相談事業の委託契約を国保連合会と締結した。事業の実施は国保連合会が委託した専門業者が行う。 ・R1年度から重複・多剤服薬者についても訪問健康相談事業の対象となった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●重複・頻回受診者と併せて、今後も重複・多剤服薬者も対象とする。</li> </ul>
	H30	R1																																	
年間指導回数	68	110																																	
	H30	R1																																	
国保被保険者数	12,041	12,164																																	
重複頻回受診者数	341	273																																	
割合	2.83%	2.24%																																	
重複多剤服薬者数	—	88																																	
割合	—	0.72%																																	
実指導人数	34	66																																	
のべ指導回数	68	110																																	

### その他の医療費適正化（レセプト点検）

委託業者の選定や委託業者との情報共有、国保連合会主催研修への参加等により、レセプト点検の体制・取組を強化し、効果率の向上を目指す。

R2年度の目標値 R1年度までの課題	評 価				⑤課題と今後の取り組み																								
	①プロセス (やってきた実践の過程)	②アウトプット (事業実施量)	③アウトカム (結果)	④ストラクチャー (構造)																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>●レセプト点検効果率の維持・向上</li> <li>●柔道整復療養費受給者への調査・啓発</li> <li>●一次点検の精度が上がっており、相対的に二次点検の効果率及び効果額が下がっている。</li> </ul>	<p>・平成30年度にプロポーザルを実施し、平成31年4月から令和4年3月までの契約を締結した。順次、レセプト点検及び柔道整復療養費受給者への調査・啓発を実施し、報告のとりまとめ及び情報共有を実施している。</p>	<p>・処理件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レセプト点検処理件数</td> <td>384,393</td> <td>382,505</td> </tr> <tr> <td>レセプト再審査申立件数</td> <td>38,227</td> <td>36,010</td> </tr> <tr> <td>柔道整復療養費調査・啓発</td> <td>2,538</td> <td>1,509</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	レセプト点検処理件数	384,393	382,505	レセプト再審査申立件数	38,227	36,010	柔道整復療養費調査・啓発	2,538	1,509	<p>・レセプト点検効果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レセプト点検効果率</td> <td>0.35%</td> <td>0.29%</td> <td>0.41%</td> </tr> <tr> <td>レセプト点検効果額</td> <td>23,159千円</td> <td>19,838千円</td> <td>15,335千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R2は10月末現在</p>		H30	R1	R2	レセプト点検効果率	0.35%	0.29%	0.41%	レセプト点検効果額	23,159千円	19,838千円	15,335千円	<p>・国保連合会による一次点検、市が委託した業者による二次点検を実施している。また、柔道整復療養費受給者に対して、施術内容についての照会・啓発を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き厳正なレセプト点検を実施する。</li> </ul>
	H30	R1																											
レセプト点検処理件数	384,393	382,505																											
レセプト再審査申立件数	38,227	36,010																											
柔道整復療養費調査・啓発	2,538	1,509																											
	H30	R1	R2																										
レセプト点検効果率	0.35%	0.29%	0.41%																										
レセプト点検効果額	23,159千円	19,838千円	15,335千円																										

### その他の医療費適正化（後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進）

関係機関との連携による啓発や被保険者への通知等により、後発医薬品の使用促進を図る。

R2年度目標値 R1年度までの課題	評価				⑤課題と今後の取り組み														
	①プロセス (やってきた実践の過程)	②アウトプット (事業実施量)	③アウトカム (結果)	④ストラクチャー (構造)															
<ul style="list-style-type: none"> <li>●切替差額通知の送付</li> <li>●被保険者証交付時のジェネリック医薬品希望カードの配布</li> <li>●薬剤師会との連携による広報紙への啓発記事掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、切替差額通知を発送している。</li> <li>・随時加入者にジェネリック医薬品希望カードを配布している。</li> <li>・薬剤師会と連携し広報紙に啓発記事を掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理件数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>差額通知 発送件数</td> <td>2,566</td> <td>2,176</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	差額通知 発送件数	2,566	2,176	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品普及率</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジェネリック医薬品 普及率</td> <td>78.4%</td> <td>76.1%</td> <td>78.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※数量ベース ※R2は10月末現在</p>		H30	R1	R2	ジェネリック医薬品 普及率	78.4%	76.1%	78.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイリスクアプローチ 毎月、切替差額通知を発送している。</li> <li>・ポピュレーションアプローチ 被保険者全員にジェネリック医薬品希望カードを配布している。</li> <li>・薬剤師会と連携し広報紙の啓発記事を作成している。</li> </ul>	<p>課題検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ジェネリック医薬品の普及率は頭打ちの状態であり、さらなる普及率向上のため、新たな取り組みが求められる。</li> </ul>
	H30	R1																	
差額通知 発送件数	2,566	2,176																	
	H30	R1	R2																
ジェネリック医薬品 普及率	78.4%	76.1%	78.5%																

### その他の医療費適正化（第三者求償の取り組み強化）

レセプト情報や消防等の関係機関と連携して第三者行為を発見し、届出を勧奨することで適切な求償を行う。

R2年度目標値 R1年度までの課題	評価				⑤課題と今後の取り組み															
	①プロセス (やってきた実践の過程)	②アウトプット (事業実施量)	③アウトカム (結果)	④ストラクチャー (構造)																
<ul style="list-style-type: none"> <li>●レセプト点検や救急搬送記録を活用した第三者行為の発見と届出勧奨</li> <li>●広報紙への第三者行為による傷病届出勧奨記事の掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月レセプト及び救急搬送記録の確認をしている。また、随時、窓口手続者に対して第三者行為の確認をしている。</li> <li>・広報紙に啓発記事を掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理件数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レセプト 抽出件数</td> <td>458</td> <td>307</td> </tr> <tr> <td>救急搬送記録 抽出件数</td> <td>189</td> <td>162</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	レセプト 抽出件数	458	307	救急搬送記録 抽出件数	189	162	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者行為求償件数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第三者行為 求償件数</td> <td>23件</td> <td>30件</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	第三者行為 求償件数	23件	30件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レセプトからの抽出、救急搬送記録からの抽出に加え、消費生活センターの相談記録から第三者行為の把握を行う。</li> </ul>	<p>課題検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き第三者行為の把握を行い、確実に求償につなげられるように努める。</li> </ul>
	H30	R1																		
レセプト 抽出件数	458	307																		
救急搬送記録 抽出件数	189	162																		
	H30	R1																		
第三者行為 求償件数	23件	30件																		

### その他の医療費適正化（健康教育）

健康や医療に関する講演・セミナー等の啓発事業を実施し、被保険者や市民の健康意識の向上を図る。

R2年度目標値 R1年度までの課題	評価				⑤課題と今後の取り組み								
	①プロセス (やってきた実践の過程)	②アウトプット (事業実施量)	③アウトカム (結果)	④ストラクチャー (構造)									
<p>【R2目標値】 健康教育により意識変容した被保険者の割合（参加者アンケートによる）：90%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康・医療に関する講演やセミナー等を年1回程度開催予定であったが、感染拡大防止のため健康・医療講演会は開催中止。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆健康・医療講演会の来場者数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約550人</td> <td>約430人</td> </tr> </tbody> </table>	H30	R1	約550人	約430人	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆健康教育により意識変容した被保険者の割合</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90.0%</td> <td>89.0%</td> </tr> </tbody> </table>	H30	R1	90.0%	89.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度より健康・医療講演会の開催場所を大型商業施設に変更した結果、若い世代や家屋連れの来場者が増えた。</li> </ul>	<p>課題検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健康・医療講演会の開催については、感染状況により判断する。</li> </ul>
H30	R1												
約550人	約430人												
H30	R1												
90.0%	89.0%												

(3) 中間評価の分析結果に基づく課題

中間評価の分析を行うにあたり、計画策定時の平成 28 年度から令和元年度までの宗像市を取り巻く状況から確認しておく。

平成 28 年度から令和元年度にかけての市の状況としては、被保険者数は減少傾向にあり、被保険者の平均年齢は 53.9 歳から 54.6 歳に微増している。

(図表③)平均自立期間は男女ともに延伸傾向にある。

(図表④)医療の状況としては、診療所数は 2 機関増加したものの、依然として被保険者千人当たりの診療所数、病床数、医師数は県の平均値を下回っている。

(図表⑤)被保険者数の減少に伴い、総医療費も減少傾向にあったが令和元年度に増加している。

(図表⑥)また、一人当たり医療費は 27,838 円から 29,646 円へと 6.5%増加しており、国・県・同規模市の平均値と比較しても依然として高い傾向が続いている。

(図表⑦)要介護認定率は平成 28 年度までは増加傾向にあったが、平成 29 年度から減少傾向に転じており、平成 28 年度の第 1 号認定率は 20.3%であったが、令和元年度は 16.0%であった。しかし、介護給付費は年々増加傾向にあり、1 件当たりの給付費が増加している。

全体的な状況としては、被保険者数は減少傾向にあるものの、一人当たり医療費や介護給付費は増加傾向にある。

図表③ 平均自立期間（要介護 2 以上）

	H28	H29	H30	R1
男性	80歳	80.5歳	80.6歳	81.1歳
女性	84.4歳	84.4歳	84.4歳	85.3歳

出典：KDBシステム地域の全体像の把握

図表④ 第 2 期データヘルス計画図表 7 医療の状況（被保険者千人あたり）

項目	28年度		29年度		30年度		R1年度		(参考)令和元年度			
									同規模市合計		福岡県合計	
	実数	割合(%)	実数	割合(%)	実数	割合(%)	実数	割合(%)	実数	割合(%)	実数	割合(%)
病院数	8	0.4	8	0.4	8	0.4	8	0.4	1,191	0.3	462	0.4
診療所数	72	3.3	72	3.4	73	3.6	74	3.7	12,540	3.2	4,666	4.2
病床数	1,075	49.8	1,075	51.1	1,071	52.5	1,016	50.6	216,881	55.7	85,398	76.0
医師数	141	6.5	141	6.7	141	6.9	141	7.0	33,544	8.6	15,997	14.2
外来患者数	741.1		748.6		752.2		759.7		709.6		707.0	
入院患者数	23.6		23.7		23.6		24.2		20.5		22.6	

出典：KDBシステム帳票 地域の全体像の把握

※同規模被保険者数 令和元年度：244市

図表⑤ 第2期データヘルス計画図表19 総医療費（入院・外来）の変化

	全体		入院		入院外	
	費用額	増減	費用額	増減	費用額	増減
25年度	71億5638万円	--	32億8422万円	--	38億8217万円	--
28年度	73億7054万円	2億1416万円	33億1993万円	3571万円	40億5061万円	1億6844万円
29年度	72億0681万円	△1億6374万円	32億6035万円	△5958万円	39億4647万円	△1億0414万円
30年度	70億5483万円	△1億5198万円	31億9449万円	△6586万円	38億6033万円	△8614万円
R1年度	72億4311万円	1億8828万円	33億1406万円	1億1957万円	39億2905万円	6872万円

出典：KDBシステム帳票 市区町村別データCSV

図表⑥ 第2期データヘルス計画図表20 一人当たり医療費の変化

		一人当たり医療費(円)			伸び率(%)*前年度比			
		全体	入院	入院外	全体	入院	入院外	
		28年度	宗像市	27,838	12,539	15,299	110.0	108.3
28年度	同規模市	25,651	10,385	15,266	108.9	107.8	109.7	
	福岡県	26,079	--	--	--	--	--	
	国	24,355	--	--	--	--	--	
29年度	宗像市	28,101	12,713	15,388	100.9	101.4	100.6	
	同規模市	26,620	10,857	15,763	103.8	104.5	103.3	
	福岡県	26,507	--	--	--	--	--	
29年度	国	25,148	--	--	--	--	--	
	30年度	宗像市	28,242	12,788	15,454	100.5	100.6	100.4
		同規模市	26,886	11,070	15,816	101.0	102.0	100.3
福岡県		26,952	--	--	--	--	--	
30年度	国	25,437	--	--	--	--	--	
	R1年度	宗像市	29,646	13,564	16,082	105.0	106.1	104.1
		同規模市	27,879	11,463	16,416	103.7	103.6	103.8
福岡県		27,656	--	--	--	--	--	
R1年度	国	26,225	--	--	--	--	--	

出典：KDBシステム帳票 市区町村別データCSV

\*一人当たり医療費は年間の総医療費を各月の被保険者総数で除して算出

図表⑦ 第2期データヘルス計画図表30 要介護認定者の経年推移

項目	28年度		29年度		30年度		R1年度		(参考)R1年度		
	実数	割合(%)	実数	割合(%)	実数	割合(%)	実数	割合(%)	同規模市	福岡県	
介護給付費(円)	61億9535万		63億7788万		64億4035万		65億7009万		-	-	
1号認定者数(人)/認定率	4,257	20.3	4,157	16.5	4,108	16.3	4,052	16.0	18.4	20.7	
新規認定者(人)	58	0.3	55	0.2	40	0.2	63	0.2	0.3	0.3	
2号認定者(人)	87	0.3	83	0.3	78	0.3	79	0.3	0.4	0.4	
1件当たり給付費(全体)(円)	61,993		62,574		62,598		63,699		64,851	61,437	
居宅サービス	39,788		40,661		40,446		41,213		42,479	42,007	
施設サービス	294,562		291,444		297,096		304,322		290,139	297,105	
有病状況(人)	糖尿病	1,008	22.4	1,010	23.0	1,030	23.6	1,000	24.2	23.0	22.7
	高血圧症	2,433	55.0	2,399	55.5	2,385	56.4	2,326	56.5	52.6	54.3
	脂質異常症	1,253	28.0	1,277	29.2	1,308	30.4	1,286	31.0	29.4	31.4
	心臓病	2,812	63.4	2,744	63.9	2,711	64.3	2,628	64.4	59.9	61.2
	脳疾患	1,307	29.6	1,282	29.7	1,217	29.2	1,169	29.1	24.7	25.7
	がん	512	11.5	502	11.5	488	11.5	468	11.6	10.7	12.1
	筋・骨格	2,319	53.3	2,294	53.0	2,242	53.7	2,147	52.9	51.7	55.1
	精神	1,839	41.0	1,787	41.6	1,810	42.5	1,808	43.8	36.9	38.5
要介護認定別医療費(40歳以上)(円)	認定あり 9,085		8,994		8,934		9,307		8,400	9,021	
	認定なし 3,988		4,143		4,172		4,288		3,911	4,171	

出典：KDBシステム帳票 地域の全体像の把握

<課題>

**特定健診の受診率向上**

○特定健診受診率については、未受診者への勧奨通知の内容を工夫するなどしたが、令和元年度の目標値である45%に達していない。令和2年度は感染対策として集団健診の定員を減らしたことから、更なる受診率の低下も見込まれる。特定健診の受診方法として、集団健診受診者の割合が9割を占めており、個別健診受診者の割合が低いため、かかりつけ医との連携強化により個別健診受診を促す必要がある。また受診券についても送付方法・様式ともに見直す必要がある。

○継続受診率は7割ほどであるが、不定期受診が微増傾向にある。年代別にみると、40～50代の受診率が低い。これらのことをふまえ、勧奨通知の内容を見直すなどして継続受診及び40～50代の受診率向上に向けて取り組む必要がある。

**特定保健指導の実施率向上**

○特定保健指導の実施率については、令和元年度の目標値である63%を達成しているが、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は増加しているため、メタボ改善に向けた指導を強化する必要がある。

**生活習慣病の発症予防・生活習慣病の重症化予防**

○(図表⑧)データヘルス計画における対象疾患(脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎不全(人口透析)・糖尿病・高血圧・脂質異常症)の医療費が総額に占める割合は減少傾向にあり、脳血管疾患・虚血性心疾患の新規患者数の割合も同様の傾向がみられる。しかしながら、健診受診者の有所見者の割合は増加傾向にあるため、重症化予防のハイリスクアプローチを強化するとともに、生活習慣病予防教室や健康イベントでの啓発などポピュレーションアプローチも継続して実施していく必要がある。

○(図表⑨)人工透析患者数は被保数千対でみると、県平均よりも低い。令和元年度の新規透析患者8人のうち6人が糖尿病、3人が糖尿病性腎症の診断があり、糖尿病の重症化を防ぐことが新規人工透析患者数の抑制にもつながることから、今後もかかりつけ医と連携し、糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組んでいく。

図表⑧ 第2期データヘルス計画図表21 データヘルス計画の疾患が医療費に占める割合

市町村名	一人あたり医療費			目標疾患							目標疾患医療費計		新生物	精神疾患	筋・骨疾患	
	金額	順位		腎		脳	心	糖尿病	高血圧	脂質異常症	15億9,352万円	22.27%				
		同規模	県内	慢性腎不全 (透析有)	(透析無)	脳梗塞 脳出血	狭心症 心筋梗塞									
宗像市	25年度	25,317	79位	35位	2.32%	0.67%	2.54%	2.46%	4.93%	5.63%	3.71%	15億9,352万円	22.27%	12.80%	12.07%	8.57%
	28年度	27,838	70位	30位	2.13%	0.29%	2.45%	2.62%	4.97%	4.52%	3.50%	15億0,965万円	<b>20.48%</b>	15.98%	10.30%	8.16%
	29年度	28,101	88位	32位	1.76%	0.24%	2.52%	2.78%	5.09%	4.25%	3.60%	14億5,913万円	<b>20.25%</b>	16.04%	10.17%	8.78%
	30年度	28,242	85位	38位	2.06%	0.20%	2.35%	1.80%	5.32%	3.86%	3.11%	13億1,905万円	<b>18.70%</b>	15.85%	9.29%	8.53%
	R1年度	29,646	77位	26位	2.20%	0.17%	2.13%	1.60%	5.38%	3.63%	3.07%	13億1,672万円	<b>18.18%</b>	17.79%	8.86%	9.71%
国	R1年度	26,225	--	--	4.45%	0.31%	2.11%	1.69%	5.41%	3.52%	2.58%	--	20.07%	15.99%	7.98%	8.79%
県	R1年度	27,656	--	--	2.64%	0.33%	2.27%	1.65%	4.99%	3.51%	2.82%	--	18.22%	15.94%	9.78%	9.15%

最大医療資源傷病(調剤含む)による分類結果  
 ◆「最大医療資源傷病名」とは、レセプトに記載された傷病名のうち最も費用を要した傷病名  
 出典: KDBシステム帳票 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

図表⑨ 新規人工透析患者数の推移

	被保険者数 (R2.3)	透析患者数 (R2.3)	被保険千対	新規人工透析患者数							
				H28	H29	H30	R1	(再掲) 糖尿病あり		(再掲) 糖尿病性腎症	
				C	D	E	F	G	G/F	H	H/F
宗像市	20,093人	24人	1.19	8人	6人	15人	8人	6人	75.0%	3人	37.5%
福岡県	1,094,437人	1,935人	1.77	459人	457人	505人	482人	392人	81.3%	247人	51.2%

出典: 被保険者数及び透析患者数: KDBシステム 市区町村別データ  
 新規導入患者数: 保健事業等評価・分析システム新規患者数

その他の医療費適正化

○一人あたり医療費は国・県・同規模市の平均値と比較して依然として高い傾向が続いているが、レセプト点検効果率及びジェネリック医薬品の普及率については目標値に近い値になってきている。今後も三師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)、県、福津市等の関係機関と連携して被保険者や市民の健康意識向上や行動変容につながる取り組みを進めていくことが必要である。



## 第2章 課題を踏まえた新たな目標値の設定

### 1 中間評価を踏まえた新たな目標値の設定

#### (1) 中長期目標の設定

近年、団塊の世代が後期高齢者に移行していることもあり、被保険者数は減少している。総医療費は減少傾向にあったが、令和元年度に増加に転じている。入院・外来医療費も増加しており、一人当たり医療費は年々増加している。

医療費を抑制していくためには、医療費が高額となる疾患、6か月以上入院となる疾患、長期化することで高額となる疾患で、要介護認定者の有病状況の多い疾患でもある脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症を減らしていくことが重要である。今までは新規発症者数の割合のみを指標としていたが、これらの疾患は医療費も高額となるため、新たに「脳血管疾患の医療費の減少」、「虚血性心疾患の医療費の減少」についても指標に追加することとする。

図表⑩ 中長期目標

課題を解決するための目標	実績				目標値				データの把握方法
	初期値 H28	H29	H30	中間評価 R1	中間目標 R1	R2	R3	R4	
脳血管疾患の新規発症の減少 (被保険者数のうち新規患者数が占める割合)	2.1%	2.0%	1.5%	1.5%	前年度より減少	1.5%未満			1.5%未満
虚血性心疾患の新規発症の減少 (被保険者数のうち新規患者数が占める割合)	1.8%	1.7%	1.5%	1.4%	前年度より減少	1.4%未満			1.4%未満
糖尿病性腎症による人工透析新規導入の減少 (新規透析患者数のうち糖尿病を持つ者の人数)	7人	5人	12人	6人	前年度より減少	5人未満			5人未満
<b>高額になる疾患 脳血管疾患の医療費の減少</b>	1.47%	1.55%	1.28%	1.28%	前年度より減少	1.28%未満			1.28%未満
<b>高額になる疾患 虚血性心疾患の医療費の減少</b>	1.15%	1.85%	1.05%	0.97%	前年度より減少	0.97%未満			0.97%未満

#### (2) 短期目標の設定

生活習慣病は自覚症状が乏しく、無自覚のまま重症化するケースも少なくないため、第3期特定健診等実施計画に基づき、特定健診受診率、特定保健指導実施率の向上を目標とする。特定保健指導実施率の令和5年度目標値は65%であるが、令和元年度の実績値は67.7%であり、すでに目標値に達している。そのため、令和5年度の最終目標値の修正を行い70%とする。

保健指導では、対象者自らが健康に関するセルフケア（自己管理）ができるようになることを目的としていることから、特定保健指導対象者が減少していくことが望ましい。そのため、「前年度比における特定保健指導対象者の減少率」を目標として追加する。

メタボリックシンドロームは、内臓脂肪の蓄積を共通の要因として、血圧高値、血糖高値、脂質異常を呈する病態であり、それぞれが重複した場合は、脳血管疾患、虚血性心疾患等の発症リスクが高くなることから、健診受診者における「メタボリックシンドローム

の該当者及び予備群の割合」を追加する。

また、脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の血管変化における共通リスクとなる高血圧、糖尿病、脂質異常症等を減らしていくことも目標とする。

令和 3 年度保険者努力支援制度より、疾病予防・健康づくりの促進の観点から、成果指標が導入され、「健診受診者のうち、HbA1c8.0 以上の未治療者の割合」が追加されたことから、同項目を追加する。

また厚生労働省・日本医師会・糖尿病対策推進会議より公表された糖尿病性腎症重症化予防プログラム（平成 31 年 4 月改訂版）において、病期分類別の対象者の優先順位等が示されたことから「健診結果からみた糖尿病性腎症第 3 期以降の未治療者数」を追加する。

図表① 短期目標

課題を解決するための目標	実績				目標値					データの把握方法
	初期値 H28	H29	H30	中間評価 R1	中間目標 R1	R2	R3	R4	最終目標 R5	
特定健診受診率の向上	35.9%	36.8%	36.2%	<b>37.7%</b>	45.0%	50.0%	54.0%	57.0%	60.0%	特定健診・特定保健指導法定報告（国保中央会）
特定保健指導実施率の向上	61.6%	63.1%	63.9%	<b>67.7%</b>	63.0%	68.0%	69.0%	69.0%	70.0%	
<b>特定保健指導対象者の減少率(前年度比)</b>	18.7%	19.7%	17.7%	<b>16.7%</b>	前年度より増加	19.7%以上			19.7%以上	
<b>メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合</b>	24.7%	25.0%	24.5%	<b>26.0%</b>	前年度より減少	24.5%未満			24.5%未満	
健診受診者の糖尿病者の割合の減少（HbA1c7.0以上）	4.6%	5.1%	4.8%	<b>5.4%</b>	4.5%	4.0%	4.0%	3.5%	3.5%	国保連合会
健診受診者の高血圧の者の割合の減少（160/100以上）	4.1%	4.1%	4.3%	<b>4.8%</b>	4.0%	3.5%	3.5%	3.0%	3.0%	
健診受診者の脂質異常の者の割合の減少（LDL160以上）	12.3%	14.7%	16.4%	<b>15.9%</b>	12.0%	11.0%	11.0%	10.0%	10.0%	
<b>健診受診者のHbA1c8.0以上の未治療者の割合の減少</b>	0.42%	0.54%	0.37%	<b>0.60%</b>	前年度より減少	0.37%未満			0.37%未満	
<b>健診結果からみた糖尿病性腎症第3期以降の未治療者の減少</b>	3人	14人	5人	<b>6人</b>	前年度より減少	3人未満			3人未満	
レセプト点検効果率の維持・向上	0.37%	0.36%	0.35%	<b>0.29%</b>	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	
後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及率向上	71.1%	73.5%	78.4%	<b>76.1%</b>	80.0%	80%	80%	80%	80%	

なお、上記の目標達成に向けて「第 1 章 3 （2）保健事業の評価（ストラクチャ・プロセス評価）と課題」に記載のとおり、各保健事業を実施する。

図表⑫ ★目標管理一覧（最終評価分）

関連計画	達成すべき目的	課題を解決するための目標	実績				目標値				データの把握方法		
			初期値 H28	H29	H30	中間評価 R1	中間目標 R1	R2	R3	R4		最終目標 R5	
特定健診等計画	短期目標	特定健診受診率の向上	35.9%	36.8%	36.2%	<b>37.7%</b>	45.0%	50.0%	54.0%	57.0%	60.0%	特定健診・特定保健指導実施報告（国保中央会）	
		特定保健指導実施率の向上	61.6%	63.1%	63.9%	<b>67.7%</b>	63.0%	68.0%	69.0%	69.0%	70.0%		
		<b>特定保健指導対象者の減少率(前年度比)</b>	18.7%	19.7%	17.7%	<b>16.7%</b>	前年度より増加		19.7%以上		19.7%以上		
		<b>メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合</b>	24.7%	25.0%	24.5%	<b>26.0%</b>	前年度より減少		24.5%未満		24.5%未満		
データヘルス計画	中長期目標	脳血管疾患の新規発症の減少 (被保険者数のうち新規患者数が占める割合)	2.1%	2.0%	1.5%	<b>1.5%</b>	前年度より減少		1.5%未満		1.5%未満	国保連合会	
		虚血性心疾患の新規発症の減少 (被保険者数のうち新規患者数が占める割合)	1.8%	1.7%	1.5%	<b>1.4%</b>	前年度より減少		1.4%未満		1.4%未満		
		糖尿病性腎症による人工透析新規導入の減少 (新規透析患者数のうち糖尿病を持つ者の人数)	7人	5人	12人	<b>6人</b>	前年度より減少		5人未満		5人未満		
		<b>高額になる疾患 脳血管疾患の医療費の減少</b>	1.47%	1.55%	1.28%	<b>1.28%</b>	前年度より減少		1.28%未満		1.28%未満		
		<b>高額になる疾患 虚血性心疾患の医療費の減少</b>	1.15%	1.85%	1.05%	<b>0.97%</b>	前年度より減少		0.97%未満		0.97%未満		
		医療費が高額となる疾患、6ヶ月以上の入院における疾患、長期化することで高額となる疾患で、要介護認定者の有病状況の多い疾患でもある脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症（人工透析患者に占める基礎疾患に糖尿病がある者の割合）の減少											
	短期	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の血管変化における共通リスクとなる高血圧、糖尿病、脂質異常症等の減少	健診受診者の糖尿病患者の割合の減少（HbA1c7.0以上）	4.6%	5.1%	4.8%	<b>5.4%</b>	4.5%	4.0%	4.0%	3.5%		3.5%
			健診受診者の高血圧の者の割合の減少（160/100以上）	4.1%	4.1%	4.3%	<b>4.8%</b>	4.0%	3.5%	3.5%	3.0%		3.0%
			健診受診者の脂質異常の者の割合の減少（LDL160以上）	12.3%	14.7%	16.4%	<b>15.9%</b>	12.0%	11.0%	11.0%	10.0%		10.0%
			<b>健診受診者のHbA1c8.0以上の未治療者の割合の減少</b>	0.42%	0.54%	0.37%	<b>0.60%</b>	前年度より減少		0.37%未満			0.37%未満
	<b>健診結果からみた糖尿病性腎症第3期以降の未治療者の減少</b>	3人	14人	5人	<b>6人</b>	前年度より減少		3人未満		3人未満			
	診療報酬支払いの適正化	レセプト点検効果率の維持・向上	0.37%	0.36%	0.35%	<b>0.29%</b>	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%		
	後発医薬品の使用により、医療費の削減	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及率向上	71.1%	73.5%	78.4%	<b>76.1%</b>	80.0%	80%	80%	80%	80%		

## 2 地域包括ケアシステムの推進・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるようにするため、保健・医療・介護・住まい・生活支援といったサービスを切れ目なく一体的に提供できる「地域包括ケアシステム」を、令和7年を目途に地域の特性に応じてつくり上げることとされている。

重度の要介護状態となる原因として生活習慣病の重症化によるものが多くを占めている。脳血管疾患、糖尿病性腎症による人工透析等、生活習慣病の重症化に起因するものは予防可能であり、国民健康保険被保険者の重症化予防を推進することが要介護認定者の減少、市民一人ひとりの健康寿命の延伸につながる。

令和元年5月には、「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」が公布され、後期高齢者の保健事業について、後期高齢者医療広域連合と市町村の連携内容を明示し、市町村において国民健康保険の保健事業や介護保険の地域支援事業とを一体的に実施するものとされた。高齢者の健康状態は非常に個人差が大きく、身体的、精神的、心理的、社会的な脆弱性といった多様な課題と不安を抱えやすい傾向にある。このような高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するためには、前期高齢者からの健康づくり・予防活動が重要である。そのためにも地域の健康課題を分析・把握し、疾病予防・重症化予防と合わせて、地域住民が主体となって行う健康づくりや介護予防の取り組みを支援し、地域で市民の健康を支える仕組みづくりを進め、国民健康保険の保健事業と後期高齢者の保健事業の連続的な取組が実施できるような体制を構築する。

また、地域包括ケアの構築に向けた医療・介護・保健・福祉・住まい・生活支援など庁内関係部局の横断的な議論の場に国保部局として参画し、地域課題等の情報共有や対応策の検討を行うことにより、被保険者を含む市民が安心して暮らしていけるような地域づくりを推進する。

図表⑬（参考）福岡県後期高齢者医療広域連合の一体的実施事業における数値目標と宗像市の現状

	評価指標	福岡県の現状	福岡県の目標	宗像市の現状
1	後期高齢者健康診査・歯科健診の受診率向上 (福岡県後期高齢者医療広域連合報告)	健康診査 9.49% (令和元年度)	前年度より向上	健康診査 7.8% (令和元年)
		歯科健診 7.62% (令和元年度)	前年度より向上	歯科健診 10.8% (令和元年)
2	通いの場への参加率の上昇 (介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況調査)	8.23% (平成30年度 福岡県)	前年度より向上	2.92% (平成30年度)
3	健康状態不明者の割合の減少 (KDBシステム)	4.18% (平成30年度 福岡県)	減少	3.8% (平成30年度)
4	低栄養者 (BMI $\leq$ 20) の減少 (後期高齢者健康診査)	男性 16.0% ・ 女性 27.9% (平成30年度 福岡県)	減少 (市目標増加)	男性 18.9% ・ 女性 34.9% (平成30年度健診受診者)
5	多剤処方 の減少 (KDBシステム)	ひと月15日以上 の6種類処方 46.1% (平成30年度 福岡県)	減少	ひと月15日以上 の6種類処方 44.2% (平成30年度)
6	人工透析患者率の低下 (健康スコアリング)	1.43% (平成30年度 福岡県)	減少	1.30% (平成30年)
7	一人当たり医療費の減少 (後期高齢者医療事業年報)	後期高齢者一人あたり医療費 1,178,616円 (平成30年度 福岡県)	減少	後期高齢者一人あたり医療費 1,123,320円 (平成30年度)
8	一人当たり介護給付費の減少 (介護保険事業状況報告)	第1号被保険者一人あたり給付費 261.2千円 (平成30年度 福岡県)	減少	第1号被保険者一人あたり給付費 219.9千円 (平成30年)
9	健康寿命の延伸 (国民生活基礎調査)	男性 71.49歳 (平成28年 福岡県) 女性 74.66歳 (平成28年 福岡県)	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	—